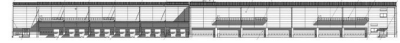


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンintelネット厚木市猿ヶ島物流計画	階数	地上2F
建設地	厚木市猿ヶ島字髭ノ後186番1ほか41筆	構造	RC造
用途地域	指定なし、市街化調整区域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2023年3月8日
敷地面積	27,071 m ²	作成者	(株)フジター級建築士事務所
建築面積	13,890 m ²	確認日	2023年3月9日
延床面積	27,049 m ²	確認者	(株)フジター級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合 サービス性能に配慮し、環境品質の向上に努めた。資源・マテリアル性に配慮し、環境負荷低減に努めた。		特になし。
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 耐用年数の長い部品部材を採用。ゆとりのある階高と空間の自由さ、積載荷重の計画により、将来用途変更可能性へ配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル 建物の節水性に配慮している。躯体材料以外にリサイクル材を採用し、非再生性資源の使用量削減に努めた。	LR3 敷地外環境 光害対策に十分に配慮した計画。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される